

はるかなる飛島

曲・詩 鈴木 創 & 梅津勘一

- 1 海から寄せる風に吹かれ
島は青に染まっていく
青い島の縁取りを
風の形に木が描く
太陽のしずく きらめき落ちて
大海原に 島が咲く

風を集める 岬の頂に
花は輝きを放つ

海と空 混じる青さの中
どこまでも飛ぶ島
朝日差す影鳥海の
はるか上を飛ぶ島

- 2 青さが生んだ白い雲の中で
島は煙っている
雨のリズムに抱かれて
けものは静かな息をつく
水のとばり 全てを包み
土の鼓動が にじむ

波に洗われる島の土が
強い瞳を育てる

海と空 混じる青さの中
どこまでも飛ぶ島
朝日差す影鳥海の
はるか上を飛ぶ島

海と空 混じる青さの中
どこまでも飛ぶ島
朝日差す影鳥海の
はるか上を飛ぶ島